

近事研

近畿 ねっとうわーく

第49号

2012. 7. 17

～ 編集・発行 ～

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 田中孝夫

所在地 高島市立新旭南小学校

滋賀県高島市新旭町新庄853

0740-25-2009

<http://www.kinjiken.jp/>

平成24年度 単位研究会 事業計画



《滋賀県公立小中学校事務研究協議会》

1 滋事研研究大会について

(1) 第41回研究大会は湖南ブロックが主管し、大会テーマ「創造しよう！教育を活かす学校事務を」のもと、平成24年12月7日（金）滋賀県立男女共同参画センターにおいて開催します。

内容は決定次第、滋事研Webに開催をします。

「滋事研のWebは (<http://www.ex.biwa.ne.jp/~shijiken/>) 」



2 学校事務共同実施特別委員会の活動について

滋事研会則第17条の規定に基づき、引き続き学校事務共同実施特別委員会を設置し、活動を進めます。主な活動内容は、県内における共同実施の推進のための啓発や研修を予定しています。

3 専門部・事務局活動について

(1) 研究部

研究部では、昨年度に引き続き、「連携」をキーワードに研究を進めていきます。

学校経営への参画をより高めるための学校間連携・地域連携業務へと学校事務の機能を展開していくには、事務職員としてどのようなことをするべきかを部員の経験年数に応じた実践を通して探っていきます。研究の過程を滋事研奈良大会で提案します。

分科会テーマ

「新しい学校事務の機能を探る～事務職員から提案する学校間連携・地域連携とは～」

(2) 研修部

学校事務職員の資質向上をめざした研修講座を実施します。

初任者研修は、今年度より初任者向け資料「学校事務の仕事」を滋事研ホームページにアップしました。年間3回の初任者研修を実施し、総合教育センターの研修と合わせて体系化させたものになるよう努めます。

また、各市町において、共同実施の取り組みも広がってきました。さらに進めるために、学校事務共同実施特別委員会作成のグランドデザインリーフレットについて会員の共通理解を図り、各校で説明できるように、プレゼンテーション能力を高められるような研修を実施します。

(3) 広報部

広報紙「さざ波」を年間2回発行し、滋事研のWebを定期的に更新していきます。

「滋事研のWeb (<http://www.ex.biwa.ne.jp/~shijiken/>) 」

滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を提供していく予定です。またホームページを活用しタイムリーな情報の提供に努めます。

(4) 事務局

事務局では、滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」の内容更新に取り組むとともに、今年度は「記載例」の見直し・記載内容の充実を図っていきます。

「要覧しが」は随時に印刷利用できるように滋事研webに掲載し、その他「会員名簿」「ダイアリー2013」の編集発行を行います。また、必要に応じて会員実態調査を行います。

《京都市立学校事務研究会》

京都市立学校事務研究会は、研究会活動を軸として多様な変化に対応し、学校間の連携を通して学校事務職員自らが、学校経営ビジョンの実現に向け、学校経営の一翼を担える「提案型事務職員」として、学校事務の充実と質の向上につなげる実践研究を進めていきます。

1 研究方針

- (1) 学校経営に主体的に参画する事務職員を目指す研究
- (2) 「学校事務職員の役割と職務標準」の研究
- (3) 学校組織のシステム化・学校事務の効率化を図る
- (4) 学校事務の実践に向けた取組の充実と情報ネットワークの構築

< 1 > 研究部

- ① 学校財務マネジメント力の習得
- ② 保護者・地域社会・教職員への説明責任
- ③ コミュニケーション力を活かした学校事務室経営
- ④ 各部局との連携による研究活動

< 2 > 研修部

- ① 各学校で実践に役立つ資料作成および情報提供
- ② 各部局・教育委員会と連携を図り、会員のニーズに即した研修会の開催
- ③ 若手事務職員の育成を通じた組織の活性化

< 3 > 事務局

- ① 総会の運営
- ② 企画委員会・幹事会の運営
- ③ 会員手帳の発行
- ④ 会報・要覧の発行
- ⑤ 予算の適正な管理と執行
- ⑥ その他会長が必要と認めた事項

< 支部会活動 >

会員一人一人の力量を高め合い実践へと繋げるために、支部間や管理職との合同研修の機会を増やし、知識や情報の共有・提供を行なうなど、工夫を凝らした支部研修を推進します。

2 研究大会の実施

平成24年度 京都市立学校事務研究大会の開催
期日 平成24年12月14日(金) 場所 京都市総合教育センター

《神戸市立小中学校事務職員研究会》

神戸市立小中学校事務職員研究会は「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」で構成されており、日常の活動は個々に行っています。

神戸市立小学校事務研究会は、研究会活動の基盤である区会活動のさらなる活性化を図ります。区会活動で得られた多くの成果を共有し、学校事務の適正化と効率化を目指します。また、会員のニーズにあった研修を企画し、事務力の向上を図ります。

2月1日(金)には、神戸市総合教育センターで研究大会を開催し、研究委員会による研究発表と討議を行います。

(小学校ホームページ <http://www2.kobe-c.ed.jp/jimu-es/>)



昭和24年に発足した神戸市立中学校事務職員会は、本年度、組織として深刻な危機を迎えています。退会者が相次ぎ、会長の選出が行われず、組織自体の存亡も微妙ななか、6月下旬に総会が開催され、そこでとりあえず暫定的に最小限の活動を継続しつつ、体制や活動の在り方について根本的に見直しを行っていくことが決まりました。当面は原点に立ち返って、助けあえる身近なつながりの再構築を最優先に、会員全員が大切と思える会の姿を探っていくこととなります。



《大阪府公立学校事務研究会》

1 基本研究

中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方」（平成10年）以降、学校の自主性・自律性が拡大される中で、その変化に対応するための、より良い学校予算制度の在り方の構築や学校事務職員の専門的力量的発揮が求められています。また、教育職員養成審議会答申「養成と採用・研修との連携の円滑化」（平成11年）では「学校事務職員の研修については、その専門性を高めることの研修や、学校の機能的運営に一層役割を果たす意識及びそれに必要な知識を高めるための研修の充実を図ることが必要である」と記されています。また現在、中央教育審議会「教員の資質能力向上対策特別部会」では「学校経営の専門免許状」について審議されています。

これらの状況から、今年度は「学校事務職員の専門性」をキーワードに研究を進めます。

2 研修について

会員の資質向上及び学校教育の発展に寄与するための人材育成を目的に、さまざまな形態での研修を企画・実施します。また学校事務の確立の観点から、あるべき体系的研修制度の研究を行います。

3 研究大会の開催

私たち学校事務職員や学校を取り巻く課題に対応するための研鑽を目的とした記念講演、加盟研究会相互の連携・交流とそれぞれの研究活動の活性化を目的とした地区別ローテーションによる実践報告、本会研究部による研究発表を軸に、第21回大阪府公立学校事務研究大会を開催します。近畿各地からの多数の参加をお待ちします。

(1) 開催日 平成24年11月2日(金)

(2) 会場 エルおおさか(大阪府立労働センター)

(3) 内容

① 記念講演 大船渡市立大船渡北小学校 主任事務主査 村上 誠二 様

② 研究発表1 大阪府公立学校事務研究会 研究部

③ 研究発表2 大阪府豊能地区合同プロジェクト



《奈良県公立小中学校事務研究会》

研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

奈良県では平成22年度より、グループワーキング(奈良県版『学校事務の共同実施』)が県下で順次試行されています。学校の教育力向上のため自主的・自律的な学校運営を行っていくには、事務職員の持つ専門性を活かし教員と適切な役割分担をしながら協業・協働体制を整備し、学校の中だけでなく、中学校区や地域においても学校事務組織を強化することが必要であると考えます。そのためにはグループワーキングを推進し、施行から本格実施に向けて各関係機関に働きかけていくと共に施行している市町村の組織力を向上させていく事が重要と捉えています。

また、私達事務職員自身も、子どもたちの豊かな育ちを支援するために「情報力」・「分析力」・「企画力」を身につけ、学校全体を見渡し、外部と連携し、質の高い教育を実現すること、すなわち「学校事務の総合マネジメントができる事務職員」を目指さなければと考えています。

今年度は、研究主題に迫るため、次の3点を具体的目標と定め、県事研の様々な事業を計画・実施していきます。

1 事務部組織の確立(学校の中での組織化)

2 学校間連携の推進(学校事務力の向上)

3 情報のマネジメント(信頼関係の構築)

今年度の重点課題



研究会の活動としては、支部活動の充実・交流と専門部活動の充実を活動の柱として、2回の研修会、新規採用事務職員フォローアップ連絡会、校長会・教頭会・事務研究会合同会議等を計画していきます。また、研究大会は、8月に開催されます第11回近畿地区公立小中学校事務研究大会奈良大会と、同心円開催します。



第11回 近畿地区公立小中学校事務研究大会(奈良大会)



●大会テーマ うるわしの国、倭^{やまと}からつなげる学校事務

～未来を生きる子どもたちのために～

●目的 子どもたちの豊かな育ちを支援する学校事務の役割を再認識し、よりよい教育の推進に貢献できるよう資質の向上を図る



大会テーマの「うるわしの国」は、「倭は国のまほろば たたなづく^{あおがき}青垣^{やまごも} 山隠れる 倭し^{うるわし}美し」と『古事記』の倭^{やまと}健^{たけ}命^{のみこと}の物語にあることから、実行委員会でテーマに決めました。

(写真は、川端康成書の歌碑です。)

さて、このように歴史のある奈良から、「つなげる学校事務」という大会テーマにそって、調査研究部からは、「学校事務を未来につなぐ」を研究の柱として報告があります。第2分科会でも、「学校間連携・地域連携」と「つなげる」ことがキーワードになっています。開催県の奈良からは次の世代につなげる「あるべき事務職員像」に迫る提案があります。

また、実行委員会では、平成23年1月31日の第1回目をスタートとして、大会成功に向けて何度も会議を重ねてきました。「自分達にできることは、何だろう?」と各加盟研究会より集まったメンバーが、「近畿はひとつ」の名のもとに力を合せて大会運営にあたっています。この大会に関わった人たちの輪がさらに広がるためにも、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

●期 日 平成24年8月23日(木) 9:15～16:30

●会 場 奈良県文化会館 奈良県奈良市登大路町6-2
TEL0742-23-8921



9:15	9:45	10:30	10:40	11:40	12:30	13:45	16:30
受付	開会行事	オリエンテーション	全体会		昼食 休憩	分科会	
			文部科学省 行政説明	近事研調査 研究部報告			

●分科会

第1分科会(提案発表:奈良県公立小中学校事務研究会)

「やってみよう!が学校を変える」

～もう脱ぎましょう〇〇の殻を～

会場 国際ホール

第2分科会(提案発表:滋賀県公立小中学校事務研究協議会)

「新しい学校事務の機能を探る」

～事務職員から提案する学校間連携・地域連携とは～

会場 小ホール

☆詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://www.kinjiken.jp/>